

令和2年度がようやくスタートします。

国の緊急事態宣言が解除され、海南市でも、新しい学校生活に向けた登校練習を経て、今日から普通授業が始まりました。昨年度3月2日(月)の休校処置から何日かの登校日はあったものの約3ヶ月もの休校となってしまいました。休み中は、生活リズムや体調の管理・家庭学習の声かけなど、保護者の皆様にはご苦労をおかけしました。ありがとうございました。

先日の登校日には、入学式以来の1年生も、真新しいランドセルを背負って登校できました。また、2～6年生とも会うことができ、担任をはじめ全教職員がうれしく思っています。

しかし、残念ながらウイルスがなくなったわけでもありませんし、ワクチンなど薬が開発されたわけでもありません。今まで通りの生活をするわけにはいきません。安全・安心な学校生活が送れますように児童の皆さんをはじめ保護者の皆さんにも、ご協力いただくことばかりだと思いますが、よろしく願います。

さて、先日、日本赤十字社の『ウイルスの次にやってくるもの』と題した YouTube を見ました。動画の中で、ウイルスの次にやってくるものとして『恐怖』『不安』『相互不信』によって、『人が人を傷つけ排除することである』と伝えていました。そして、最後には、『人とつながること、正しく知ること、自分ができることをする』ことを伝えていました。

人はストレスがたまると攻撃的になると言われています。誤った正義感からの『自粛警察』や『誹謗中傷』などがニュースでも取り上げられていますが、3ヶ月もの自粛生活で子どもたちもストレスいっぱいの筈です。学校でも落ち着いた生活となるよう気を配って参りますが、ご家庭でも、子どもたちの心のケアにご配慮ください。また、気になることがありましたら、いつでも学校までご相談ください。

校長 土井 安博